

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	全員協議会	場 所	全員協議会室
		担当職員	阿久根由美子
日 時	平成25年10月1日(火曜日)		
		開議	午後2時30分
		閉議	午後3時19分
出 席 委 員	議員 26名		
執行機関出席者	山内政策推進室長、桂政策推進室担当室長、竹村政策推進課長、西田環境市民部長、中川環境市民部担当部長、高屋まちづくり推進部長、古林まちづくり推進部担当部長、森都市計画課長、伊豆田都市整備課長、並河桂川・道路整備課長		
事務局出席者	今西局長、藤村次長、阿久根副課長、山崎係長、坂田主任、三宅主任		
傍 聴	可・否	市民1名	報道関係者0名

## 会 議 の 概 要

14:30

### 1 開議

〔木曾議長開議〕

〔事務局長 説明〕

### 2 大規模スポーツ施設整備計画について

#### (1) 施設整備計画について

14:34

〔政策推進室長 説明〕

14:42

#### (2) 「京都・亀岡保津川公園」都市計画素案について

〔まちづくり推進部長 説明〕

14:53

#### < 政策推進室長 >

課題事項について報告する。

- ・地権者と用地交渉を行い買収承諾書面の提出をお願いしている。現時点で2名が承諾に至っていない。今年は水稻の作付けをしてもらい、都市計画決定のあと提供をしてもらう。
- ・アユモドキ生育環境保全の工事手法を検討するため環境保全専門家会議を6回、ワーキング会議を5回実施している。
- ・整備によるスタジアム経済効果、社会効果の分析と効果向上の方策を学園大学で研究会を設置願い調査をしてもらっている。
- ・直接経済効果だけではなく2次、3次波及効果測定のため産業連関表の作成も進められている。
- ・一日も早く府から素案を出してもらうよう申し出をしている。
- ・府はスタジアム運営経営専門家会議を設置し、附帯施設、管理手法等を検討され、基本設計を進められている。
- ・府と連携し課題を解決していく考えである。

15:00

### (3) 質疑

#### <立花委員>

今回の18号台風では桂川沿川の被害が大きかった。今回と同じことが起きないと担保はできるのか。日吉ダムの効果は果たしているのか。

#### <まちづくり推進部担当部長>

台風時の日吉ダムの効果が発表された。保津橋16日午前7時40分が最高の水位で6.82m、ダムがなかった場合は8.31mが想定され水位の低減効果は1.49mであった。150t/秒放流の申合せがあったが、200mの危険水位に達したため16日12時ごろ緊急放流された。保津橋の水位が下がってきたことを見極めてから504.10 m<sup>3</sup>/秒放流された。日吉ダムの効果は発揮されたが、河川改修の促進は必要で、上桂川期成同盟を中心に進めていく。

#### <立花委員>

台風で雨が降り始めたときのダムの水量は。

#### <まちづくり推進部担当部長>

把握できていない。日吉ダム流域の平均総降水量が345mm、ダムの流入量最大は9月16日午前6時44分で1,694 m<sup>3</sup>/秒、日吉ダム放流量148 m<sup>3</sup>/秒、貯水量1,546 m<sup>3</sup>/秒をかかえ持っていた。

#### <立花委員>

全体計画完成までに要する予算はいくらか。

#### <政策推進室長>

スタジアム規模や配置が京都府からまだ示されていないため総額は未定。

<立花委員>

早期に概算でも算出を。市民合意を得るうえでも重要なことである。特別会計を設置して事業を行うのか。

<政策推進室長>

決まっていないが用地確保は特別会計を設置し、公園事業は公園事業費で執行の考えである。

<立花委員>

公園素案について、計画年度は。

<まちづくり推進部長>

今は未定。

<馬場委員>

資料図面はどこが作成したものか。

<まちづくり推進部長>

2～5は駅北土地区画整理事業準備組合設立委員会。

<まちづくり推進部担当部長>

6は保津川かわまちづくり推進協議会で議論されている案である。

<馬場委員>

全体イメージパース図右側の保津橋は、地元で問題にならなかったのか。

<まちづくり推進部長>

保津橋南進の事業計画が具体になる前に作成されたもので、若干の不整合がある。

<馬場委員>

亀岡駅から駅北を見て右を低層にして牛松山を見やすく、左は住宅にすると聞いていたが、このパースによると全く見えないのでは。

<まちづくり推進部長>

駅北準備委員会でも検討されてきたのは資料4にぎわいのみちイメージで、牛松山の眺望を地元は確保したいとし、オープンスペースの設置を計画されている。どちら側が低層か、高層かは今後の土地利用のなかで計画される。保津橋高架道路の下に低層住宅地がよいのかも議論されている。西側に低層、東側に中高層も一つの選択肢である。

<馬場委員>

共生ゾーンに光の遮蔽措置が取り入れてないと思う。

<まちづくり推進部長>

スタジアムの形態が今は明らかでない。今後の協議事項である。

<馬場委員>

台風で市民の大半が計画は止めだという意見である。どう返すのか。

<まちづくり推進部長>

今回の台風では亀岡駅のホームまでには至らず駅北道路も冠水は免れた。整備すれば今より道路高は高くなるので、整備後も同じ降雨量なら冠水はないと考える。亀岡・保津川公園も堤防を逸水した状況ではなかった。

### 3 その他

〔事務局長 本日の会議予定報告〕

15 : 19